高齢者の方へ

インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月1日からインフルエンザの定期予防接種（以下、「接種」）を実施します。

対象者

香美市に住民登録があり、接種日当日①65歳以上の方または②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害により、日常生活が極度に制限される障害を有する方

実施期間　**12月31日㈫まで**

※医療機関の休診日は除く

場　所　**県内委託医療機関**

申込方法

事前に医療機関に接種日等をご確認の上、健康保険証・身体障害者手帳等の対象者であることが確認できるものを持参し、接種を申し出てください。

接種料金（自己負担金）　**1,000円**

公費負担で接種できるのは、1回だけです。

生活保護受給者の方（対象者①②の要件に該当する方のみ）は、免除証明書を持参すれば自己負担が免除になります。

対象の方は申請してください。

【免除証明書の申請先】

福祉事務所 保護班	☎53−1064
香北支所地域振興課 市民生活班	☎52−9285
物部支所地域振興課 市民生活班	☎52−9288

【接種に関する問い合わせ先】

健康介護支援課 保健推進班	☎52−9281

◆接種注意事項

（1）接種を受けるにあたって

①接種は義務ではなく、あくまで本人が希望する場合にのみ行うものです。

②気になることや、分からないことがあれば、接種前に医療機関に相談して、接種を受けるかどうか判断しましょう。

（2）接種の有効性

①高齢者の発病防止や、特に重症化防止に有効であることが確認されています。

②効果（ウイルスに対する抵抗力）は、接種後、約2週間から約5カ月間の間は持続するとされています。

（3）接種できない人

①接種当日、明らかに発熱のある方（一般的に、体温が37.5℃以上の場合を指します。）

②重い急性疾患にかかっていることが明らかな方（急性の病気で薬を飲む必要があるような方は、その後、病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせてください。）

③接種に含まれる成分によって、アナフィラキシー※を起こしたことのあることが明らかな方。

④過去に接種後、2日以内にじんましん・発熱・発疹（ほっしん）などのアレルギーと思われる異常がみられた方。

※アナフィラキシーとは、通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応です。発汗、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

（4）副反応

まれに副反応が起こることがあります。接種後に、接種した部位の痛み・熱・ひどい腫（は）れ・じんましん・繰り返す嘔吐・顔色の悪さ・低血圧・高熱などの症状が現れた場合は、接種医療機関等の診察を受けてください。

（5）接種による健康被害救済制度について

予防接種法に定める定期の予防接種によって、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害を生じ、当該接種と因果関係があることを厚生労働大臣が認定した場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

ことばの力を育てる

ー山田小学校ー

▲新聞を使った学習を行う山田小学校の5年生

山田小学校は本年度、県教育委員会から**ことばの力育成プロジェクト事業**の重点校として研究指定を受け、児童に『ことばの力』を身に付ける取り組みを行っています。

5年生では、新聞を使った学習を行い、6年生では、社会科で単元のまとめの学習として**歴史人物新聞**を作りました。

児童の書く力を育てるために3年生の国語科では、次のような指導を繰り返し行っています。

①児童の関心のあることから書くことを決める②相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を集めたり調べたりする③自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考える④書こうとすることの中心を明確にする。必要に応じて理由や事例を挙げて書く⑤文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする⑥書いたものを発表し合い、書き手の考えなどについて意見を述べ合う。

また、国語科の学習で身に付けた書く力を発揮する場として、学習課題（その時間に中心として勉強する内容）に対する自分の考えを、理由を含めて書くように指導しています。

算数科では、答えだけでなく、答えに至る考え方も書くようにしています。また、互いが学び合う中で、友達の考えの良さや、プラスになる考え方をメモするようにもしています。

このような学習活動を継続的に行い、今、求められている**ことばの力**（必要な情報を取り出して読む力や目的に応じて書く力など）を高め、児童の思考力・判断力・表現力を育成し、コミュニケーション能力や豊かな情緒や感性を持った児童を育成することにつなげていきたいと考えています。

（山田小学校）

山小の「ことばの力」を育てる取り組み

新聞の活用・作成により思考力や表現力を育てます

【社会科】
教科書に出てくる戦国武将について調べ、歴史や先人の働きについて、理解と関心を深め、新聞形式に表現する。

【総合的な学習の時間】
東日本大震災について書かれている新聞記事を読み、疑問に思ったことや課題となったことを調査し、分類・整理して自分たちの活動に生かす。

全教科で学校図書館を活用した授業を行っています

【国語科】
「ごんぎつね」の学習時、学校の学習と並行して、新美南吉の他の作品を読み、読書をしようとする意欲を育てる。

【道徳】
道徳の時間に勤労の意義について学習し、自分なりに働くということについての考えをもった後に、「勤労」について書かれている図書を読む。

学習課題に対する自分の考えをノートに書いています

【国語科】
広告と説明書を読み比べ、目的による表現の違いや述べ方の工夫を捉え、捉えたことを分かりやすくノートに書く。

【算数科】
計算の仕方や面積の求め方などの与えられた課題に対し、言葉や数・式・図・表・グラフなどを用いて自分の考えを分かりやすくノートに書く。